

森分 良

(川崎医科大学附属病院 中央放射線部)

令和6年1月7日、福山市民病院にて開催された「救急撮影講習会 in 福山 Hybrid 開催～プロフェッショナルの技～」を受講しました。私自身、救急業務についてアップデート出来ていなかったのも、～プロフェッショナルの技～という今回の題名に惹かれて、後輩とともに参加しました。

参加者は若い方が多い印象でした。また、学生の方々も多く参加されているということで、非常に意識の高い若い世代がおられることに感銘を受け、私も頑張らなければと思わせていただく良い機会になりました。1月初旬という時期ではありましたが、現地は約30名、Webは約180名、延べ200名を超える参加者の救急撮影業務に対する熱い思いが、福山の会場に熱気を運んでいたように思います。

今回の講演テーマは基礎教養として、技：WAZA 1~4 と題しまして救急業務に携わる、各分野の役割、技をそれぞれに特化した内容で取り上げられており、どれもわかりやすい内容で、各分野の講師の WAZA と情熱が込められたスライドであり、初学者・熟練者まで学ぶことが出来る充実した内容でありました。その中で、特に印象に残った講演は、私自身が日勤業務を CT 室に勤務していることもあり、「救急 CT 検査におけるワンポイント」についてお話いただいた三村先生の講演です。三村先生の講演は、著名な先生ですのでこれまでも何度か拝聴したことがありましたが、非常にわかりやすく内容をまとめられており聞きやすい内容でした。CT 検査に関する撮影方法や注意点を根拠となる論文を交え実際の画像も含めて説明していただき CT 検査のアップデートが出来る内容で大変勉強になりました。特に、造影効果が悪い CT 検査においてワークステーションを用いて画像加算を行い造影効果が良い症例と同等の効果が得られるようにする。加えて、画像再構成方法に Deep Learning Reconstruction を用いることで、ノイズ成分は抑えたまま造影効果のみ向上させることが可能という話は目から鱗が落ちる話であり今後そのような症例に遭遇した場合は試してみようと思いました。

特別講演の寺田先生においては、多発外傷に対する整形外科的治療戦略と題しまして救急外来へ来られた際の患者全身状態に合わせた治療戦略・手術方法について詳しく教えていただきました。手術方法の歴史から診断に必要な画像・手術に至るまでの整形外科医としての考え方を多くの写真とともに解説いただき、多発外傷に対する整形外科的治療戦略をしっかり理解出来ました。

今回の講習会に参加したことで、知識の再確認・他施設の取り組み方・整形外科医としての多発外傷に対する取り組みなどを短い時間の中で凝縮して学ぶことが出来ました。また患者に寄り添って患者のためになることをそれぞれの分野から還元できるように業務に取り組まれている姿を拝見して感銘を受けました。私も3次救急に携わっている身としてより一層の努力を重ねたいと思いました。ここで得られた知識を自施設に持ち帰り自分自身のみではなく患者に還元できると考えます。年明け早々の勉強会でしたが内容の濃い非常に有意義な時間を過ごすことができ 2024 年良いスタートをきることができました。

最後になりましたが講習会を主催していただいた JERT の皆様、並びに講師の先生方、会場スタッフの皆様に感謝を申し上げます。

令和6年1月吉日

